特集

平成23年度 春季集落座談会

～地域と一体となって「食と農」を守る～

3月12日から19日までの5日間、ＪＡでは春季集落座談会を管内50会場で開催しました。座談会では、平成24年度経営計画やカントリーエレベーターの施設概要、また農業者戸別所得補償制度などを協議し、特に今年秋から稼働する当ＪＡ初のカントリーエレベーターについて、組合員の皆様から多くの貴重なご意見やご要望を頂きました。ＪＡでは皆様の声を事業に反映し、地域と一体となって「食と農」を守ってまいります。

このページでは、皆様から頂いたご質問とその回答を掲載いたします。

協議事項①

Q 平成24年度経営計画のめやすについてホバークラフトによる除草剤散布を詳しく説明して頂きたいのですが。

A ラジコン操作で動くボート型の機械で、苗の上を水面に浮かびながら除草剤を散布していきます。苗への影響もなく薬効も高く天気に左右されることも少ないので、今後デモ散布を行いながら紹介していきます。

Q カドミは水管理が本当に有効なのでしょうか?また、カドミが検出された出荷者個人ごとに防止対策をきちんと指導しているのでしょうか?

A 国からの資料にも出穂前後2週間田面を空気に触れないようにすると、カドミ米の発生を抑制することが確認されております。カドミ米（0.4 ppm 以上）が発生した生産者へは倉庫担当者より「カドミ濃度の自主検査結果報告書」を配布しながら流通の防止と次年度以降の水管理について文書を配布しております。また、県市町と協議しながらカドミウム発生防止検討会を開催しております。基準を超えた方には、県、市町、ＪＡの担当者で防止指導を行っております。

Q 無人ヘリで稲こうじ病の防除を加えることは出来ないものでしょうか?

A 稲こうじ病に「ヘリ散布登録」がある薬剤が必要ですが、現状では見当たりませんのでヘリ防除に稲こうじを組み入れることは難しいです。発生を防ぐためにも個人防除での対応をお願いします。

Q 営農センターにも農薬・肥料など、在庫を置くようにして頂きたいのですが。

A 配達は能代配送センターからの一元配送で行っておりますが、当用で使う分は各センターに準備しておきます。尚、電話での予約注文をして頂ければ事前の配達をしておりますので活用願います。

Q あきたｅｃｏライスと一般米では価格が違うのでしょうか?

A 全農の新たな拡大推進対策として「あきたｅｃｏらいす」シェアー70％達成に向けて、平成24年産概算金に100円／60kgを加算する取組みを行う予定です。加算対象は主食用うるち米として　あきたこまち、ひとめぼれ、ゆめおばこ、めんこいな、淡雪こまち1・2等となります。

Q 1.9㎜網目を使っていますが、お米通信簿で整粒歩合が悪いと言われます。どのような基準で行っているのでしょうか?

A ＪＡでは、穀粒判別機を利用しながら整粒歩合を検査していますが、米選別機網目1.9㎜を使用しても玄米を流す量が多すぎますと選別能力が低下して整粒歩合が低下してしまうことから、適正流量での使用をお願いいたします。尚、基準としては1等：基準整粒歩合70％以上　2等：基準整粒歩合60％以上　3等：基準整粒歩合45％以上となっております。

Q 大豆のシワで等級が落ちますが、製品には何ら影響がないので、検査基準を見直すよう働きかけてほしいです。